

三保松原の歴史や羽衣伝説、松原保全など、映像シアターや展示でわかりやすく紹介する年中無休の施設です。エレーター・ジグザグリス夫人の写真や使用していた能面など、貴重な資料も展示しています。また、ミュージアムショップでは松葉を使った鉛や入浴料といった、ここでしか購入できないオリジナルグッズを販売しています。

所在地：静岡市清水区三保 1338-45  
TEL054-340-2100  
開館時間：9:00～16:30（年中無休）



三保松原公式



会場へのアクセス

アクセス：【JR東海道本線】  
JR清水駅から三保方面行きバス約25分  
「三保松原入口」下車徒歩約15分  
【静岡鉄道】  
新清水駅から三保方面行きバス約20分  
「三保松原入口」下車徒歩約15分  
【車】清水ICから約25分  
静岡ICから約35分

駐車場：臨時駐車場 約200台

※羽衣まつりにご来場の際は、必ず臨時駐車場をご利用ください。  
※雨天会場には駐車場の運用がありませんので予めご了承ください。

〈雨天時の会場〉

静岡市清水文化会館マリナート  
所在地：静岡市清水区島崎町 214番  
アクセス：【JR東海道本線】  
JR清水駅みなと口（東口）下車、徒歩3分  
【静岡鉄道】  
新清水駅下車、徒歩10分

当日の会場の確認・お問い合わせ  
（雨天時は当日11時に会場を決定します）

▶静岡市コールセンター TEL：054-200-4894  
（午前8時～午後5時）



第40回 三保羽衣  
**新能**

演目

- 能 「羽衣 和合之舞（はごろもわごうのまい）」  
シテ 観世 三郎太（かんぜ さぶろうた）「観世流」
- 狂言 「棒縛（ぼうしばり）」  
シテ 三宅 右矩（みやけ すけのり）「和泉流」
- 能 「車僧（くるまそう）」  
シテ 山階 彌右衛門（やましな やえもん）「観世流」

・冒頭に旗門の見どころ解説がございます。



観世 三郎太（かんぜ さぶろうた）「観世流」  
三宅 右矩（みやけ すけのり）「和泉流」  
山階 彌右衛門（やましな やえもん）「観世流」

**10月7日 土**  
16:30～19:30（終了時刻は目安）

会場 静岡市三保松原文化創造センター  
「みほしるべ」前広場  
【雨天】静岡市清水文化会館マリナート 大ホール（清水区島崎町）

鑑賞券発売開始

令和5年 8月1日 火 10時から  
全席指定 5,000円 22歳以下 2,000円

発売場所

チケットぴあ ホームページ（Pコード 520-328）

お近くのセブンイレブンでも直接お買い求めいただけます。

※小学生未満のお子様連れの入場はご遠慮ください。  
※チケットお取りの都合で開くお席がございます。  
※上座中、後座等により中止する場合がございますが、当日終了後払い戻しはいたしません。



〈問い合わせ先〉

羽衣まつり運営委員会事務局（静岡市役所文化振興課内） TEL 054-221-1040  
羽衣ホームページ <https://www.hagoromo-fes.com>



〈当日の会場の確認・お問い合わせ〉静岡市コールセンター TEL 054-200-4894

主催：羽衣まつり運営委員会 特別協賛：株式会社清水銀行・鈴与グループ・はごろもフーズ株式会社



ON まちは劇場  
STAGE SHIZUOKA

# 第40回 三保羽衣新能

世界文化遺産富士山の構成資産であり、古来より景勝の地として知られる「三保松原」。天女が舞い降りたとされるこの地で、静岡市三保松原文化創造センター「みほしるべ」を背景に上演される新能は、他に類を見ない組み合わせであり、日本唯一です。この地でしか味わうことのできない幽玄な世界をお楽しみください。

**時間** 16:30～19:30頃（開場 15:45）

**場所** 静岡市三保松原文化創造センター「みほしるべ」前広場  
（雨天：静岡市清水文化会館マリナート 大ホール（清水区島崎町））



# 第40回 羽衣まつり

羽衣まつりでは、プロ能楽師による新能公演だけでなく地元の団体や子どもたちも能を披露します。静岡市にゆかりのある伝統芸能を通じたイベントに足並を揃えてみてください。（雨天時には変更又は中止となる場合があります）



## 能「羽衣 和合之舞（はごろも わごうのまい）」

朝の光輝く三保の松原。辺りに住む漁夫の白雁（しんげ）が湖の景色を眺めていると、空からは花が降り、妙なる音楽が聞こえ、保壽が辺りを包みます。

白能がふと気付くと、松の木に美しい衣が掛かっているのを見つめます。家来にと持ち返ろうとすると、天人（テンテ）が現れて呼び止め、それは天人の羽衣なので決して欲しいと頼みます。白能は、目は斬りますが、天人の悲しむ姿を見て哀れに思ひ、舞を見せて貰うことと引き換えに衣を返します。

天人は喜んで羽衣をまとい、美しい舞を舞い、数々の姿を降らせ、宮上の高嶺を越え、春霞にまぎれて姿を消して行くのでした。



## 狂言「棒縛（ぼうしばり）」

留守中に酒を盗み飲みきれないよう、主人は太郎冠者、次郎冠者を騙して縛り、出掛けに行きます。二人は不目由な体勢のまま知恵を絞って、酒を飲み始め、飲めや歌えやの酒盛りの中で、突然主人が帰って来て…。



## 能「車僧（くるまぞう）」

注力で牛の居ない町を操る車僧と呼ばれる僧（ワキ）が、成瀬野・西山の麓で景色を眺めていると、山伏（前シテ）が現れ、神前答を仕掛けます。車僧が上手くこれをかわすと、山伏は奥山に住む天狗・太郎坊と有縁の、すると、辺りにはわかにかき廻り嵐となり、太郎坊は姿を消します。（入）

太郎坊の手下・雷越天狗（後シテ）が現われ、車僧を雷撃させて魔道に引き込もうとしますが、私了で対峙し退けられてしまい、太郎坊を呼び出して逃げ去ります。

正体を現した太郎坊（後シテ）は、車僧と問答し、牛の居ない町を打りますが、びくともじきません。しかし、車僧が私了を操ると、車は雪の野原を平然と進み、ついには、太郎坊も車僧の法力に屈して、退散するのでした。



後援：静岡市、静岡市教育委員会、在ロフランス大使館 アンステッテュ・フランスール、前岡具、前岡県教育委員会、静岡市文化協会、（公財）静岡市文化振興財団、前岡具文化協会、公益財団法人静岡県文化財団、静岡県能楽協会、朝日新聞静岡支局、毎日新聞静岡支局、読売新聞静岡支局、産経新聞静岡支局、日三新聞奥海本州、静岡新聞社 静岡放送、テレビ静岡、静岡朝日テレビ、静岡第一テレビ、K-mix、マリンパル 76.3、76.9FM-HI!

※会場では、携帯電話・タブレットの使用、撮影、録音などは遠慮くださいようお願いいたします。（公演中は電源をお切りになるか、マナーモードに設定してください）

## 三保こども能楽、しずおか・三保羽衣謡隊

**時間** 13:00～14:00

**場所** 静岡市三保松原文化創造センター「みほしるべ」前広場  
（雨天：静岡市立清水第五中学校体育館）

日本の伝統文化を学んでいる静岡市立清水第五中学校の生徒及び謡隊の育成が、口伝の稽古の成果を発表します。入場無料



## エレヌ夫人顕彰式

**時間** 14:30～15:10

**場所** 静岡市三保松原文化創造センター「みほしるべ」前広場～エレヌの碑前  
（雨天：中止（献花のみ））

エレヌ・ジュエラリス夫人を顕彰し、羽衣の舞、の奉納、散花などが行われます。入場無料



# 羽衣まつりは今年で40周年を迎えます!

40周年を記念した特別講演会や、能を学ぶ静岡県立大学生によるパンフレットの制作など、様々な記念事業を計画中です。詳細が決定次第、羽衣まつり公式サイト等でお知らせします。